

農山漁村地域整備計画(治山関連事業計画)事前評価結果

| | | |
|-------|--------|---|
| 計画の概要 | 計画の名称 | 治山関連事業計画 |
| | 計画策定主体 | 神奈川県 |
| | 対象市町村 | 県内全域33市町村 |
| | 計画期間 | 令和元年～5年 計5箇年 |
| | 計画の目標 | 溪間工や山腹工による基盤整備や森林整備によって、森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の地区数を7地区増加させる。 |
| | 評価指標 | 森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の地区数の増加 7地区 |
| | 対象事業 | 予防治山事業 |
| | 全体事業費 | 9億円 |

| 項目 | 評価細目 | 評価 | 説明欄 |
|-------------|---|----|--|
| 目標の妥当性 | 1 関連する計画との整合性が図られているか | ○ | 「森林整備保全事業計画」に定める事業目標と整合性が図られている。 |
| | 2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか | ○ | 地域の課題である「山地災害の防止」に対応した目標となっている。 |
| 整備計画の効果・効率性 | 1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか | ○ | 整備計画の目標として適当な定量的指標の設定となっている。 |
| | 2 事後評価ができる適切な指標となっているか | ○ | 「山地災害危険地区」における新規事業着手数により事後評価できるものとなっている。 |
| | 3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切のものとなっているか | ○ | 「治山事業」の実施により発現する効果として適切な指標となっている。 |
| 整備計画の実現可能性 | 1 円滑な事業執行の環境が整っているか | ○ | 対象地の条件・事業に必要な技術的条件・事業費等様々な側面から検討して実施可能な計画となっている。 |
| | 2 地元の機運が醸成されているか | ○ | 地元関係者からは同意または理解を得られている。 |
| 評価結果 | 評価 I 事業を実施 評価 II 計画の見直し | | [評価基準] [評価 I]は全項目に○印がついている [評価 II]は1項目でも×印がついている |